

2025年 4月 13日

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 合格体験記

1級受検番号 NO 03F2120297 氏名 S H (長野 在住)

■1級技能士を目指したきっかけ
2級キャリアコンサルティング技能士取得後、自分の知識や技術の確認を目に見える形で行いたいと考えていました。そこで22年に技能士の会の講座に参加をさせていただきました。長野から東京での参加のため時間とお金がかかったこともあり今回は最後と考え取り組みました。結果22年12月実施12回の試験では論述合格・翌年2月の実技試験合格を果たすことができました。が学科試験は不合格のため、一部合格・実技試験免除となり学科試験に注力することとなりました。周りから「学科だけだから次回は合格」という雰囲気があり、それなりのプレッシャーを感じつつ学科試験に取り組みました。13回は3問不足で不合格。14回で合格となりました。
■当初の勉強法
12回・13回の試験準備では、過去問を解くことを中心に準備をしましたが、基礎的な知識が不足しており、安定的な回答とはなりません。そこで期間の前半は、基礎的な知識の確認、後半で過去問を解くこととして、準備には入りました。 「キャリアの青本Ⅳ」「キャリアの赤本ドリル」「赤本リスニング」をテキストにして基礎を固めることにしました。
■合格のきっかけ
仕事の関係で平日時間をとることが難しいため、できる耳から情報を入れるようにし「赤本リスニング」を中心に、添付していただいたテキストをiPadに取り込みできるだけ荷物を減らし、繰り返し確認をしました。「赤本リスニング」はスピードを変えることができたので、標準で始め、3回目くらいには2倍速でも問題なく対応ができるようになりました。また、休日には「キャリアの赤本」をメインに繰り返し確認をしました。この状態で13回の試験に臨みましたが、結果不合格。敗因は試験問題の言葉づかいに迷う場面が多く、結果時間が足りなくなり冷静さを欠いたことだと思います。 そこで14回については、再度基礎的な知識の確認と過去問を大きな柱として設定し、取り組むことにしました。が今回はなかなか基礎的な確認が全く進みませんでした。今分析すると、少し「飽きている」状態になっていたと思います。そこで、いったん決めたテキストから離れ、基本に立ち返り「キャリアコンサルティング理論と実際6訂版」を通読することにしました。読み進めると、過去問・赤本ドリル・赤本リスニングなどに掲載されている文言が続々とでてくることに改めて触れることができました。 試験まで3か月を残した段階で、過去問に向かい合うこととなります。こちらもiPadに取り込みました。過去5年分を各3回繰り返しました。目的は文言に慣れることなので、誰もいないところで問題文を音読しました。過去に受検されている方は、50問の中にはかなり常識的な問題も多いことにお気づきだと思いますが、それが後半部分に割と多いことにも改めて確認しました。 これまで試験は第1問から解いていたのですが、今回は第50問から解きました。結果60分で第1問までたどり着き、見直しを入れても十分に時間が余る結果となりました。時間に余裕ができたことで、これまで解けたのに、時間がなくあやふやだった問題も確実に正答にたどりつくことができたと思います。

■受検される方へメッセージ

2015年12月の1級試験を始めて受検してから合格まで約10年を費やしました。その間のほとんどが独学での受検でした。今回技能士の会の講座に参加したことをきっかけに、合格までのスピードが急に上がり、大変感謝しています。また、その際にも学んだ受講生の方々とも今も連絡を取り合い、進捗状況や情報交換ができ、地方在住の者としては大変にありがたいと感じています。

地方に住んでいると、情報がなかなか入ってこないことと高いレベルと一緒に勉強できる方が少ないことが悩みの種です。

技能士の会の講座と出会うことができ、少しお金と時間の部分は少し大変ですが、それに見合う経験をさせていただくことができ大変感謝しています。

改めて、熱心に指導していただいた講師の皆様や、同じ目標で学びに取り組む仲間と出会うことができたことに感謝したいと思います。様々な形でお声がけをいただいた皆さんにお礼を申し上げますとともに、取得した後も、さまざまな形で、協働できるのではないかとワクワクしています。